

やめてんか！市民サービス切り捨てるの「維新プロジェクト」 市長は疑惑の真相を明らかにせよ！！

市長の「財政非常事態宣言」により始まった「行政の維新プロジェクト」。吹田市の財政は、借金と貯金の取崩に頼った赤字体質だとして、「収入に合わせて支出を組む」という財政規律を徹底するとし、公共料金の値上げ・市職員の大幅削減・公立保育園の民営化や小学校給食調理業務などのアウトソーシングの推進・事業の見直しなど、市民負担の引き上げと市民サービスの切り捨てが進められています。

しかし、それらの財政効果が出てくる前の段階の2011年度一般会計決算でも、臨時財政対策債の発行は行わず、財政調整基金2億5千万円を取崩したものの、実質収支は黒字を維持している状況であり、偽りの「財政非常事態宣言」で「福祉の吹田」「子育てするなら吹田」といわれてきた吹田市の市民サービスを削減することがねらいであることが明らかになりました。

偽りの「財政非常事態宣言」は直ちに撤回し、「福祉の吹田」「子育てするなら吹田」といわれてきた吹田らしさを破壊する「行政の維新プロジェクト」は中止すべきです。

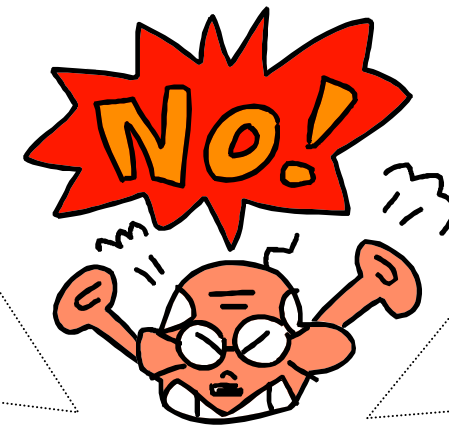
昨年度の「事業の見直し」では、市独自の100事業を対象に、財政面や他市との比較で、高齢者や障害者・子育て支援などの事業がバツサリと削減されました。

また、2012年度の事業の見直しでは、残りすべての事業（1200事業）について外部委員を加えた行政評価委員会で評価し、さらに事業の切り捨てがすすめられようとしています。



2012年3月末に廃止された福祉巡回バス（きぼう号）については、市議会3月定例会でも議論となり、吹田市は代替策も検討するとなりました。しかし、市民へのアンケート調査は実施されたものの、具体的な対応は未だに示されていません。

はり・きゅう・マッサージ助成事業は、2012年度より対象年齢を引き上げ（65歳以上→75歳以上）、助成回数が14回から6回に縮小されました（2013年度は廃止に）。高齢者の健康維持にも役立っていた助成事業の縮小で、かえって医療費が増加するのではとの懸念の声もあげられています。



障害者の福祉年金・福祉タクシー料助成事業も対象者を大幅に縮小（福祉タクシーは助成額も引き下げ）。わずかな所得で暮らす障害者には大打撃に。

公立保育園の民営化が進められようとする中、保育料改定や公立保育園・延長保育料の有料化も。延長保育料有料化では最大で年額62,400円もの負担増に。しかも、応能負担ではなく、応益負担で一律に負担が求められます（生活保護・市民税非課税は無料）。

市独自の短期入所生活介護事業（ショートステイ）の廃止により、ショートステイの利用日数を減らさなければならなくなったり、在宅生活を諦め施設入所余儀なくされる高齢者が増えています。

そんな中、市庁舎工事をめぐる疑惑が浮上!!

市長は、疑惑についての真相を明らかにし、市民への責任を果たすべき!

10月31日、市庁舎工事の発注等に関わる市長をめぐる疑惑がマスコミで一斉に報道されました。市役所屋上への太陽光パネル設置工事が市長の後援企業に約2,250万円もの「単独随意契約」で発注され、受注関連会社への市長私設秘書の名義貸しなども報道されています。

市長は、「その企業との間で仕事にまつわる話は一切していませんし、発注するように職員に指示したこともありません。」と弁明していますが、随意契約については、市長決裁も行われており、市長としての責任は免れません。

市議会「全員協議会」では…

11/12(月)に、市議会「全員協議会」が開催され、一連の疑惑報道について約9時間にわたり質疑応答が行われました。

マスコミ報道によると、市長は「単独随意契約だと認識していた。決裁時に随意契約となっていて企業名も書かれていた。認識していなかったことにはならない」と述べ、これまでの「認識していなかった」との発言から一転と報じています。



富田副市長が辞任…。市長は…??

11/19(月)には、富田副市長が「契約に問題はないと思っているが、誰かが責任を取らないといけない。問題を収束させたい。」と引責辞任を表明。井上市長は「副市長は事務方のトップとして判断された。(自分の辞職は)ないです。」と話したと報じられました。

市民は「真相の解明」を求めている!!

11/26(月)市議会臨時会が開かれ、地方自治法第100条に基づく調査特別委員会(100条委員会)の設置が議決されました。

市民は、市長が100条委員会で真実を語り、疑惑の真相を明らかにすることを求めています。

市民サービス切り捨ての維新「政治」では、「市民の暮らし」は良くなる!!

橋下氏は、大阪府知事就任後、大阪府は「民間で言えば破産会社」だとして、福祉・教育・医療・暮らし・文化などの府民サービスをバツサリと切り捨て。福祉や教育などの住民サービスは市町村の役割だとしました。

しかし、吹田市は大阪府と同じように市民サービスを切り捨てています。では、市民の暮らしは一体誰が守ってくれるのでしょうか??!

維新の会をめぐる「政治とカネ」…

橋下市長

橋下氏が代表を務める日本維新の会は、「企業・団体献金の禁止」を掲げていたものの、「政治資金パーティー」を容認することで事実上は「企業・団体献金」を続けてきました。また、「太陽の党」との合流でその方針さえも早々と撤回しています。

松井知事

松井知事の特別秘書と元秘書が、2007年1月から10年12月の4年間、松井知事が社長を務めていた電気工事会社から、総額1740万円の給与支払いを受けていたことが判明。企業による秘書給与の支払いは政治家への寄付にあたり政治資金収支報告書に記載しなければならないものを、松井知事は収支報告書に記載しておらず、明らかな違法献金にあたるとして10月24日に市民グループが大阪地検に告発しました。



「維新」って言うけど、古い「政治」体質と何が違うの??



明る維新市政
吹田市川園町20-1吹田商工会館内
電話090-3057-2335

発行編集責任者 西野 千代子
連絡先
吹田市川園町20-1吹田商工会館内
電話090-3057-2335

HP
<http://www.suita-akarukai.com/>